

施設賞

「新たなチャレンジ」というテーマで施設紹介動画を作ってもらいました。

動画のクオリティや内容をもとに全施設で投票を行い、賞を決定しました。

1
最優秀施設賞

特別養護老人ホーム ちとせ稲毛



どの施設も自分たちのよさをPRする力がついてきたと思います。稲毛の場合は、協力会社さんとの連携をうまく表現し、短い時間のなかでまとめた。関わっている方々の笑顔が印象に残りました。



にしだ なおこ
代表者：西田 直子 ユニットリーダー

今回の感謝祭では、介護職員だけでなくいろいろな方の協力で成り立っていることを皆様知ってほしいという思いで企画制作しました。動画に携わっていた皆様のおかげでいただけた賞だと思います。授賞式では、デニ職員と一緒に大きいトロフィーと旗を理事長からいただき、思い出に残る表彰式になりました。

第2位

特別養護老人ホーム ちとせ小町



みなまがり ごう
代表者：南曲 豪 施設長

施設賞第2位の受賞、大変光栄です。ちとせ小町では、特養で行った敬老会や職員によるソーラン節の様子、デイサービスでのレクリエーションの様子を動画にして発表しました。イベントでお客様が喜んでいらっしゃる表情や、レクリエーションに熱心に取り組んでいただく様子が上手く動画で紹介できたかと思えます。また、来年度も受賞できるような新たなことに挑戦していきたいと思えます。

第3位

ケアハウスこまち 墨田館



ささき てるみ
代表者：佐々木 映三 施設長

クイズに正解した時にともに喜び、楽しんで墨田館の団結力が高まりました。また、お客様が他施設のご長寿賞最高齢の方々を見て、「私たちも負けてはいられないわ」「元気に楽しませなしゃ」と笑顔で話されていたのも印象的でした。理事長の想いが、職員やお客様に届いた素晴らしいイベントでした。次回も皆様と笑顔溢れるなかで参加したいです。

セクシー賞

仕事に対する姿勢が素敵な職員や周囲にいい影響を与えた職員を表彰しました。

マヤラ・アグスティナ

特別養護老人ホームちとせ北本 介護職

感謝祭で私が受賞できたのは北本の職員みんなのおかげです。感謝しています。理事長からトロフィーをいただいたときは本当にびっくりしました。生まれて初めて大きなトロフィーをいただきました。写真を母国・インドネシアの母に送ると、大変喜んでくれました。千歳会はたくさんイベントがあって、楽しく活気のある働きやすい職場です。私はここで働けてよかったと思っています。これからも精一杯頑張りますので、よろしく願っています。



約3000人が働く千歳会の職員、今年の顔が決まりました！

Information

社会福祉法人千歳会 法人本部
特別養護老人ホーム ちとせ稲毛

〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台50-1
Tel:043-445-7840 Fax:043-445-7832
✉info@1000.or.jp (法人本部)
✉info-inage@1000.or.jp (ちとせ稲毛)

社会福祉法人千歳会 法人本部 分室

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-4-5-3F
Tel:03-6908-7777 Fax:03-5651-7667
✉info@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ北本
居宅介護支援事業所 ちとせ北本

〒364-0001 埼玉県北本市深井3-25-1
Tel:048-579-5110 Fax:048-579-5114
✉info-kitamoto@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ小町
デイサービスセンター ちとせ小町

〒285-0043 千葉県佐倉市大蛇町215-7
Tel:043-312-5111 Fax:043-312-5112
✉info-komachi@1000.or.jp

ケアハウス ちとせ
訪問介護ステーション ちとせ
居宅介護支援センター ちとせ
デイサービスセンター ちとせ

〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
Tel:043-464-1577 Fax:043-460-5776
✉info-chitose@1000.or.jp

居宅介護支援センター みはま

〒261-0004 千葉県千葉市美浜区高洲4-1-9 都栄ビル2F
Tel:043-307-4711 Fax:043-307-4712

ケアハウス こまち墨田館

〒131-0045 東京都墨田区押上3-61-4
Tel:03-6657-5690 Fax:03-6657-5691
✉info-sumida@1000.or.jp

アスサキ号外 2024年3月21日発行

【発行】社会福祉法人千歳会
【制作】山本 梓 / 中浜 崇之
社会福祉法人千歳会 黒沢 優衣
【デザイン】入江 阿寿香

クイズ答え Q1.→ C.カレー番長パン
Q2.→ B.40個

号外

千歳会
オリジナル
メディア

アスサキ



第3回 感謝祭を開催!

表彰式スペシャル号



Q1.

墨田区にあるパン屋「カメヤ」の一番人気のパンといえば?

A
ゴールデンメロンパン

B
塩バターロール

C
カレー番長パン

D
甲羅クリームパン



Q2.

ちとせ稲毛の正面玄関の下駄箱の数は?

A
35個

B
40個

C
45個

D
50個

※答えは4Pに

感謝祭とは

千歳会で働く職員、お客様、ご家族、そして取引先のみならず……。千歳会に関わってくださっている全ての方に日々の感謝の気持ちを伝える「千歳会感謝祭」を開催しました。アスサキ号外として、6つの賞を受賞した方々と施設をご紹介します!

当時の様子は、配信動画でご覧いただけます!



ご長寿賞

お客様のご長寿をお祝いし、
いつも**元気をいただいていることに感謝**する賞です。

第1位



かわさき ふみこ
川崎 文子様

大正9年9月26日生 103歳

特別養護老人ホームちとせ小町

表彰式に参加される前は、緊張されている様子でしたが、理事長から表彰状をいただいた際は、とても嬉しそうにされていました。(施設長・南曲豪)

第3位



たつの みきえ
龍野 美貴恵様

大正12年11月27日生 100歳(感謝祭当時99歳)

特別養護老人ホームちとせ小町

こんなにお祝いしていただけるなんて嬉しいです。(長生きの秘訣は)皆様に助けられているおかげです。本当にありがとうございます。

その他の受賞者

第1位

せの
瀬野 クミ子様 104歳(感謝祭当時103歳)
特別養護老人ホームちとせ小町

第2位

かみさか
上坂 ヨノイ様 101歳(感謝祭当時100歳)
特別養護老人ホームちとせ小町

みながわ きみこ
皆川 公子様 100歳
特別養護老人ホームちとせ北本

第3位

いむら さちこ
井村 幸子様 100歳(感謝祭当時99歳)
特別養護老人ホームちとせ小町

いわい もとこ
岩井 元子様 100歳(感謝祭当時99歳)
デイサービスセンターちとせ

あきの きよこ
秋野 清子様 99歳
デイサービスセンターちとせ

おがわ
小川 こと様 99歳
特別養護老人ホームちとせ小町

なかじま よしこ
中島 良子様 99歳
特別養護老人ホームちとせ小町

かわきた
川北 ミツ様 99歳
ケアハウスちとせ

笑顔が太陽で賞

「施設内を太陽のように明るく素敵な笑顔」で
過ごして下さったお客様を表彰しました。



みやもと れいこ
宮本 礼子様 ケアハウスこまち墨田館

(ご本人は、ご病気により上手く言葉にできないとのことで、いつも言葉の勉強をしている用紙を持って来てくださり、一生懸命に説明してくださいました(職員代筆))
わからないことや困った時は、皆さんに助けられています。今回の表彰式はお気に入りのイヤリングとワンピースを身に付け、皆さんに笑顔で感謝の気持ちを伝えました。もっと話せるように頑張りたいです。



フォトコンテスト

「きらり輝いている瞬間」を

テーマに職員の皆様から写真を募集し、
本部職員によって選考した作品を
表彰しました。



第1位

ひさみつ ちえ
久光 智恵
ケアハウスちとせ 調理師

「私の大切なワンチーム♡」と題しました。表彰いただき宝物がひとつ増えました。ここで、大好きな歌詞の一部をご紹介します。『生きてゆくことの意味問いかけるその度に胸をよぎる愛しい人のあたたかさ、この星の片隅でめぐり会えた奇跡はどんな宝石よりも大切な宝物』。一生懸命に真心のハッピーエンドを迎えることが、私の今の夢です。



「大切なワンチーム 88歳になりました」

第2位

アメル・ヌルハンダヤニ

特別養護老人ホームちとせ北本 介護職

このような素晴らしい賞をいただき嬉しいです。私はインドネシアから来ました。施設にはほかの外国人も働いています。同僚たちはみんな親切で、私たち外国人をサポートしてくれます。私はこの千歳会に入職できたことをよかったですと思っています。私たちを受け入れてくれて本当にありがとうございます。



「夫と一緒に中部ジャワの文化衣装を着て」

第3位

おおた のぶえ
太田 伸江 デイサービスセンターちとせ 介護職

手作りクレープで、ちとせメイドが参上したときの写真です。介護の職場は、毎日ドラマのようで、キラリと光を感じる「時」がたくさんあります。私はそんな「時」を愛おしく感じます。私はこれからも、そんな宝物のような「光る時」を大切にしていきたいと思っています。



「THE Entertainment!(ザ・エンターテイメント)」

エピソードコンテスト

職員一人ひとりの仕事を通して体験した「ストーリー」を募集しました。
お客様とのやりとりや職員間の交流での「感動エピソード」、失敗をしたけれど見事リカバリーした「大失敗エピソード」、行動指針を広めていくための取り組み「行動指針浸透チャレンジ」の3部門でエントリーしてもらいました。

感動エピソード

第1位



寄り添って励まされることで、こんなに内側から力が湧き上がるなんて！
翌日から挑むように運転し始めることができました。今、楽しく仕事していただけるのも藤井施設長のおかげです。

おた のぶえ
太田 伸江 デイサービスセンターちとせ 介護職

上司や同僚、ケアハウスのお客様から優しい笑顔向けられた表彰式。温かい雰囲気にもまれて嬉しかったです。尊敬し信頼できる上司のもとで働ける私は恵まれています。藤井施設長からいただいた御恩、忘れません。これから先、挫けそうになっている人がいたら、寄り添い、力になれるような職員でありたいと思います。

行動指針浸透チャレンジ

第1位

ケアハウスちとせでは、行動指針を毎朝朝礼で唱和しています。(中略)暗唱できれば、普段の行動の際に、ふと思いつきながら行動できるのではないかと、まずは覚えることを優先しました。今は毎月、各指針のエピソードを提出してもらい、みんなで共感できるエピソードを選んでいきます。エピソードを読んで、共感したり、納得したり、時には意外性を感じたり。いい行動は見習いたいと考えています。(中略)
まずは、ケアハウス拠点の部署間の連携をスムーズに行おうと、部署を超えての関係性の構築を目指し、毎月目標を決めています。
10月のテーマは「お互いをリスペクトしよう!」にしました。お互いを尊敬、尊重し、よりいい関係を築きたいと思っています。しかし、出勤時間も出入口も違う厨房さんや、他の部署でも非常勤で時短の方もいます。お互いを理解するために、交流会の開催を計画しています。
ケアハウスちとせは部署間を超えて協力し合い、地域一番を目指しています。

大失敗エピソード

第1位



みなみがり ごう
南曲 豪 特別養護老人ホームちとせ小町 施設長

この度は、表彰いただき誠にありがとうございます。失敗は褒められたものではありませんが、失敗から何かを得る、今回のエピソードを通して、また次に活かすという姿勢をもって臨み続けることで、自身の飛躍に繋がると思うようになりました。これからも、失敗を恐れずに挑戦していきたいと思っています。



ぬまがみ まいこ
沼上 麻衣子
訪問介護ステーション ちとせ 管理者

ケアハウス拠点、みんなでよりよい明日のために意識して行っていることを評価していただいた、と大変嬉しく思います。ケアハウスちとせは4事業所からなり、仕事内容もまったく違います。それぞれの視点や考え方がありますが、密に連携をとることで「ハッピーエンドを創造できる」と信じ、これからも頑張ろう! と思いました。